

令和3年度事業報告について

令和3年度事業報告

令和元年度末から拡大を始めた新型コロナウイルス感染症は、「一日も早い収束を」という願いもむなしく、3年度中も猛威を振るい、定時総会は2年続きで出席者を限定しての縮小開催となり、1年延期していた設立40周年記念式典の開催もついには断念せざるを得ない状況に至るなど、厳しい1年となりました。

雇用を含む社会経済活動が大きな打撃を受け就業機会が減少したことに加え、お祭りやイベントなどの中止・縮小は、受注や会員獲得の機会とともに会員の活躍の機会をも失わせるものでした。

こうした厳しい状況の中、新型コロナウイルスの感染防止や安全に配慮しながら、人手不足に対応し、地域社会の課題解決の担い手として期待される、家事援助サービスや空き家管理、介護・子育て支援の周辺など、新たな分野へのチャレンジを進め、自治体のコロナ関連事業の補助業務に積極的に参入し、密を避けての会員獲得機会の充実を図るなど、さまざまな工夫を行いながら事業を実施してまいりました。

しかしながらコロナ禍での事業展開には予想以上に制約が大きかったことに加え、3年4月から70歳までの就業機会の確保を努力義務とする「高年齢者雇用安定法」の改正施行、適正就業の徹底など、シルバー事業をめぐる環境は厳しさを増すばかりであり、十分な成果を出すには至っておりません。コロナ前を目指した受注実績の回復はならず、前年度をも下回る結果となり、会員数は前年度をわずかに上回ることができたものの、結果として、契約金額・会員数ともに当初掲げていた目標を達成することは叶いませんでした。

一方、目に見える経営改善には至っていないものの、デジタル関連の整備を進めてオンラインやペーパーレスの推進を図る取り組みや新たな就業機会や会員の獲得に資する広報ツールの作成など、未来の事業改善に向けた取り組みを継続して進めてまいりました。また5年10月からの導入が決まっているインボイス制度に関しては、シルバー事業の根幹を揺るがしかねない危機との認識を仙台市や仙台市議会とも共有し、特例措置等を求める運動にも力を入れてまいったところです。

超高齢・人口減少社会において、シルバー人材センターの果たす役割は大きく、今後も高齢者福祉の増進と地域社会の活性化のため、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、会員の健康と安全就業を第一に、持続可能な運営に取り組んでまいります。

以下、令和3年度に実施した事業の詳細について報告いたします。

I 事業運営

1. 安全・適正就業の推進

「安全・安心なシルバー事業」を確立することを最優先事項とし、安全・適正就業委員会を中心に組織一丸となって会員の傷害事故及び発注者・第三者に対する損害賠償事故の防止、新型コロナウイルス感染防止に係る対応周知や会員の健康確保に努めました。

また、会員の働き方に係る重要な指針となる「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を基軸に、高齢者の多様な就業ニーズに応えながら、法令に基づく適正な就業の順守に努めました。

(1) 安全就業の徹底

ア 事故を絶対起こさせない、起こさない組織づくり

国が実施する「全国安全週間」に合わせ、シルバー人材センターにとって7月は「安全・適正就業強化月間」となっています。当センターでは更に7月から11月までを「安全推進期間」と定め、「安全就業推進実施計画」を基に実効性のある普及啓発活動を実施し、安全就業対策の一層の推進を図りました。

イ 再発防止策の徹底

発生した事故の状況により、必要に応じて事故調査委員会を開催し、当事者からの聞き取りや事故の要因分析を行い事故の再発防止に努めました。

また、安全就業に係る啓発・周知を目的に、就業途上における事故防止策や熱中症対策などの記事を「安全就業強化月間特集号」へ掲載するとともに、「安全特集号」を別途作成し、事故発生状況の分析や安全パトロール、賠償事故に係る会員負担基準の変更などの記事を掲載しました。

更には安全10ヵ条や事故時の連絡フロー、センター加入の保険等の内容を盛り込んだ「安全就業しおり」を新たに作成し、全会員に発送して安全意識の啓発を図りました。

ウ 安全就業基準等の見直しについて

作業別（植木剪定・機械刈り除草・手刈り除草・清掃）に安全就業が確保されることを前提にあらためて基準の見直しを行い、剪定作業ができる樹木の高さの設定や斜面での作業における斜度の設定、熱中症対策等安全に係る内容を新たに付け加えました。

また、賠償事故に係る会員負担基準について、保険が適用になる場合とならない場合の会員負担額に差が出ないように見直しを行いました。

エ 会員の健康管理の推進

会員自身による健康意識の向上を図ることを目的に、「事務局だより」・「安全就業強化月間特集号」・「安全就業しおり」などを活用し、会員への健康診断の受診奨励や健康の自己管理向上に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、安全就業強化月間特集号や安全就業しおりへ防止策等の記事を掲載し、周知しました。

オ 研修会、講習会等による安全対策の習得と意識の高揚

会員の事故の未然防止と再発防止、健康の自己管理向上を目的に各種研修会・講習会の開催を予定しておりましたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため一部を除いて研修会・講習会が中止となりました。

○安全就業講習会等実施状況

講習・研修会等名	開催日	開催場所	参加人数	備考
秋季交通安全運動出発式	R3.9.21	泉区役所玄関前	1人	泉区交通安全協会主催 少人数での参加要請
安全就業研修会 (交通安全講習会)	R4.1.26	仙台市シルバーセンター交流ホール	68人	高齢者の事故防止について（仙台市内の事故発生状況、高齢者ドライバーの交通安全に係るDVD放映等）

※安全運転技能研修会、安全就業講習会、救命講習会等は中止としました。

カ 安全パトロールによる検証

機械刈除草や植木剪定を中心に就業現場を巡回し、就業状況の聞き取りを行いながら、就業会員に安全意識の高揚を図るとともに、事故防止及び安全就業の徹底を図りました。7月の「安全・適正就業強化月間」から安全パトロールを開始し、11月までの16日間で計16ヵ所を巡回しました。

また、併せて巡回先では安全確認のほか以下の対応を行いました。

- ① 検温・マスク着用の励行
- ② 緊急連絡カード・安全就業しおりの所持確認と励行
- ③ 作業前の確認（周囲に危険物・危険箇所がないか等）
- ④ 健康診断の受診奨励

キ 効果的な安全意識の啓発

会員の安全に係る意識の啓発など「安全・安心」なシルバー事業を展開することを目的に予定していた「安全大会」は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止としました。代わりに、安全特集号に事故状況の分析・安全パトロールや適正就業への取組状況の報告・賠償事故に係る会員負担基準の変更・就業年限による就業の基本形態などの記事を掲載し、安全就業や適正就業に係る意識の啓発を図りました。

ク 危機管理への対応

災害等の緊急事態や大きな事故が発生した際の対応として作成したBCP(事業継続計画)及び「事故発生時の情報伝達ルートと対応」や新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種対応について、会員及び事務局職員に周知を図り緊急時の対応に備えました。

ケ 衛生委員会の開催

シルバー派遣事業の実施に伴い、公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会仙台市事業所として、産業医・衛生管理者・派遣会員の代表者参加のもと「衛生委員会」を毎月開催し、派遣会員及びセンター職員の衛生管理と健康増進対策・災害予防対策等について検討を行い実施してきましたが、今年度はシルバー派遣に係る労災事故が3件、賠償責任事故が2件（計5件）事故が発生してしまいました。事故状況の確認と分析を行い、防止対策について検討し、事故件数を抑制するために更なる啓発に努めました。

○事故発生状況

	年 度	R 3	R 2	R 1	H 3 0
事故発生状況	傷害事故	11 (9・2)	20 (15・5)	22 (13・9)	17 (12・5)
	賠償事故	14	7	4	4
	労災事故	3	0	0	0
	賠償事故 (派遣)	2	0	0	0
	合 計	30	27	26	21

(単位：件)

※傷害保険（ ）は（就業中・就業途上）の件数内訳

(2) 適正就業の推進

ア 会員の適正な就業確保

会員の働き方の指針となっている「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」や「発注者向けパンフレット」を活用しながら、会員や発注者に対し適正な就業形態について周知し、理解を得ながら、適正な就業の確保に努めました。

イ 適正就業の検証と見直し

会員に適正な就業機会を提供するため、就業現場を巡回し、会員並びに発注者との面談等による実態調査を行い、適正就業の検証と就業体系の見直しなど、適正就業への改善に向けた取り組みを行いました。

また、公平な就業という観点から、安全特集号に就業年限による就業の基本形態などの記事を掲載し、周知に努めました。

○巡回訪問

現場確認及び実態調査を行い、就業内容を把握したうえで適正な就業形態に基づく対応について発注者・就業会員に説明するとともに、就業・契約形態の改善に取り組みました。

ウ 労働関係法令に対する対応

シルバー派遣への切り替えを行う場合やシルバー派遣として新規で受注する際は、同一労働同一賃金ルールなど派遣労働者の不合理な待遇差の改善について、法に沿った適正な実施に努めました。

2. 会員の増強（会員の拡大）

会員拡大を目的に新規会員の入会促進に繋がるさまざまな取り組みや、会員を対象とした各種研修・講習会を開催するなど会員のスキルアップや資質の向上・後継者の育成に努めました。

（1）入会促進

本部・北部支部において毎月行う入会説明会は、事前予約制で人数制限、時間短縮するなど内容を工夫して開催しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止していた出張入会説明会については、宮城野区・若林区で再開したことに加え、新たな入会手段として令和3年7月からWEBによる入会説明会を開始しました。その他、「シニアのお仕事フェア in 仙台」への参加や、民間会社と共催した健康イベントに参加された会員以外の方へPR活動を行い、会員の拡大に努めました。

■入会説明会開催状況

	回数	参加人数（男・女）			入会者数（男・女）			入会率%
		男	女	合計	男	女	合計	
本部	12	517	(287)	(230)	316	(181)	(135)	61.1
北部支部	12	248	(160)	(88)	110	(90)	(20)	44.4
小計	24	765	(447)	(318)	426	(271)	(155)	55.7
宮城野区 (出張)	1 (8/19)	20	(9)	(11)	13	(7)	(6)	65.0
若林区 (出張)	1 (9/29)	34	(17)	(17)	13	(7)	(6)	38.2
小計	2	54	(26)	(28)	26	(14)	(12)	48.1
合計	26	819	(473)	(346)	452	(285)	(167)	55.2

※WEB手続きによる申込み状況：（申込人数 102名　うち入会者数 41名）

■会員数の推移：（ ）内は女性会員数

（単位：人）

年度	入会者数	退会者数	比較増減	年度末会員数	前年度比
令和3年度	452 (167)	442 (124)	+10 (43)	2,705 (814)	100.4%
令和2年度	361 (133)	459 (156)	△98 (△23)	2,695 (771)	96.5%
令和元年度	507 (170)	446 (133)	+61 (37)	2,793 (794)	102.2%
平成30年度	496 (169)	423 (149)	+73 (20)	2,732 (757)	102.7%
平成29年度	460 (150)	374 (129)	+86 (21)	2,659 (737)	103.3%
平成28年度	422 (135)	387 (122)	+35 (13)	2,573 (716)	101.4%
平成27年度	450 (144)	386 (124)	+64 (20)	2,538 (703)	102.6%

(2) 会員の資質向上

ア 各種技能講習会

会員がさまざまな就業依頼に対応できるよう、各種技能講習会を開催することで、後継者の育成や就業に係るスキルアップの向上に努めました。

<職群班による技能講習会の実施状況>

内 容	期 間	会 場	受講者 (延人数)	入班 者数	担当 支部
植木剪定	6/3・6/4	新人研修会 泉海洋センター	5人 (9人)	1人	北部
	7/29・7/30	新人研修会 7/29 中央研修所 7/30 西公園	5人 (5人)	3人	本部
	3/10	中堅講習会(マツ剪定講習) 宮城県印刷工業組合	12人 (12人)	—	本部
清 掃	7/8	新人研修会 ユアテックスタジアム仙台	9人 (9人)	7人	北部
筆 耕	9/14	新人研修会 中央研修所	11人 (11人)	0人	本部
	9/15	スキルアップ研修会 中央研修所	10人 (10人)	—	本部
計	6回実施 (延べ8日間)		52人 (56人)	11人	

※筆耕班については、他に毎週火曜日に勉強会を開催し、年3回開催している筆耕審査会では、延べ49名が受験し、3名が合格、7名が仮合格となっている。

イ 接遇研修会

会員が就業等を含めた活動を行う上で必要となる接遇マナーの基本(聴き方・話し方)におけるスキル向上を目的に接遇研修会を開催しました。

【日 時】令和4年1月26日(水)10時00分～12時00分

【会 場】仙台市シルバーセンター「1階交流ホール」

【内 容】個性を活かした接遇・コミュニケーション術
～利用者とのより良い関係を築くために～

【講 師】キャリアカウンセラー 鶴田 弥生 氏

【受講者】60名

ウ 新入会員研修会

入会希望者を対象に、センターの理念(自主・自立、共働・共助)や会員として就業・活動する際の心構えなどに関する研修会を毎月開催し、新規入会者への周知徹底を図りました。

(3) 退会防止の推進

未就業会員の状況把握や就業相談を随時開催するなど、未就業会員が就業に結び付くよう努めました。

3. 就業の場の確保（就業機会の拡大）

依然として続いている新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により、就業開拓に大きな影響が出ているなかで、センターの会員にふさわしい就業を効果的に確保するため、創意工夫を行いながら就業開拓や就業機会拡大に繋がる取り組みに努めました。

（1）就業開拓の推進

民間企業や一般家庭を訪問し、センターでの受注形態や就業に係る仕組みについて適正就業ガイドラインを活用しながら、センターを利用するメリットについて理解が得られるよう対応し、多くの受注依頼に結びつくよう就業開拓に努めました。

また、依頼される就業形態によって「委任・請負」「シルバー派遣」の適切な契約形態を判断し、多様な発注者のニーズに応えることで受注契約の拡大に繋げられるよう対応しました。

ア コーディネーターによる就業開拓

○就業コーディネーター活動状況 《本部4名・北部支部2名配置》

訪問件数	契約状況		
	契約件数	就業延日人員	契約金額
977件	109件	8,641人日	34,977,931円

※シルバー派遣含む

○家事援助コーディネーター活動状況 《本部1名・北部支部1名配置》

契約状況		
契約件数	就業延日人員	契約金額
208件	436人日	1,464,449円

イ 既存契約先を訪問しての就業開拓

既に受注実績のある発注先を表敬訪問し、現在契約している職種以外の就業開拓や就業規模の拡大について要請を行うなど、就業開拓活動を行いました。

ウ 新たな分野における就業開拓

仙台市の協力により、市内私立幼稚園における「設置者・園長会議」へ参加してのPRや市内「介護施設団体」へのPR文書を発送するなど、センターの仕組みを周知しながら人手不足分野における周辺業務の就業開拓を行いました。

エ 支援要請活動の実施

役職員が仙台市関係局及び市関係団体等を訪問し、更なる就業機会提供等の協力などの要請活動を実施しました

(2) 就業機会の拡大

就業依頼現場の状況を的確に把握し、会員の就業マッチングを迅速に行うなど、就業機会の拡大に繋がりました。併せて、随時、就業相談を実施することで、未就業会員の要望や就業条件等を把握し、より多くの会員が就業できるよう努めました。

また、一般家庭からの就業機会の拡大を図るため、空き家管理業務・家事援助サービス業務の拡大について検討、対応を行いました。

ア 就業相談の充実

就業を希望する会員の要望や就業条件等をヒアリングし、そのデータを基に多くの会員が就業に繋がるよう努めました。

イ 家事援助サービス業務の推進

引き続き、家事援助コーディネーターを配置し、就業依頼があった発注者宅へ訪問するなど、センターの仕組みの説明や就業現場を事前に確認することにより、会員の就業が円滑に対応できるよう努めました。また、就業希望者に対して外部講師を招いての実技をメインとしたスキルアップ研修を実施し、受注体制の強化に努めました。

《家事援助サービス研修会の開催》

○【日 時】令和3年12月10日(金)

①第1回 10:00~12:00 ②第2回 13:00~15:00

【場 所】「千葉会館」

【講 師】ハウスキーピング協会 千葉裕子氏

【内 容】・効果的な清掃理論について講義

- ・窓ふき、トイレ等の清掃手順について実技指導
- ・清掃に効果的なセスキ水の活用方法
- ・就業する際の心構え

【受講者】①第1回 受講者 5名 ②第2回 受講者 7名

○【日 時】令和3年12月14日(火)

③第1回 10:00~12:00 ④第2回 13:00~15:00

【場 所】「千葉会館」

【講 師】ハウスキーピング協会 千葉裕子氏

【内 容】・効果的な清掃理論について講義

- ・窓ふき、トイレ等の清掃手順について実技指導
- ・清掃に効果的なセスキ水の活用方法
- ・就業する際の心構え

【受講者】③第3回 受講者 6名 ④第4回 受講者 6名

ウ 空き家管理業務の推進

当センターの空き家管理業務の推進を図るため、空き家所有者に業務を周知する方法について、仙台市において空き家所有者との空き家の管理に関する相談対応の際に「その他の相談（管理代行サービス）団体」として、当センター業務の紹介ができるよう仙台市の担当課と協議を行いました。

（３）普及啓発活動の推進

昨年続き、新型コロナウイルス感染拡大により各種イベント等が中止となりましたが、シルバー人材センター事業の仕組みを地域社会に広く周知するため、各種広告の掲載や公共施設へのリーフレット設置依頼等を行い、年間を通じた普及啓発活動を推進しました。

ア 普及啓発促進月間の実施

全シ協が定めている10月の「シルバー人材センター事業啓発促進月間」に併せて、市関係機関への「リーフレットの設置」や「普及啓発ポスターの掲示」等を行い、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めました。

イ 年間を通じた広報活動の展開

①さまざまなメディアを活用した広報活動の展開

仙台市政だよりへの掲載や新聞等への掲載を行い積極的な広報活動に努めました。

②ホームページの活用・充実

ホームページへのセンターの情報を随時掲載するなど、広くセンターの活動状況などの情報を発信しました。

③各種イベント（区民まつり・市民センターまつり等）への参加による広報活動

区民まつり等の各種イベントに参加しての啓発活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年続きすべてのイベントが中止となりました。

④各種関係機関等へのリーフレットの設置依頼

従来の仙台市関係施設に加えて、新たに地域の包括支援センター、商業施設、郵便局、コミュニティセンター等へ、リーフレットの設置依頼交渉を行い普及啓発の拡大に努めました。

⑤各種広告媒体による広報活動

地下鉄駅構内電照広告看板×15カ所掲出（継続）

⑥一般市民を対象とした各種研修会やイベント企画を通じた広報

一般市民を対象にパソコン事業班による「無料パソコン相談会」を開催しました。

ウ 会報誌「シルバー仙台」の発行

広報誌を年2回（7月・1月）発行し、会員の声や就業現場の様子など、センターの活動状況について掲載しました。

エ 広告の掲載

市関係機関等が発行する機関誌にセンターの広告を掲載しました。

- ①仙台市退職者クラブ「仙萩会」だよりへの掲載（1月発行）
- ②市政だより広告掲載（2月号）
- ③仙台商工会議所発行月報「飛翔」広告掲載（3月発行）
- ④仙台市連合町内会長会だより広告掲載（3月発行）

オ 仙台ふるさと応援寄附返礼品協力事業者登録

家事援助サービスの広報を目的に「家事援助サービス」（価格2,000円）を返礼品の商品として引き続き登録を行いました。

カ オリジナルロゴマークの活用

当センター事業を更に広く周知するために作成したオリジナルロゴマークを、ホームページや封筒などへ掲載し、普及啓発に努めました。

（4）女性会員の活動の活性化

女性会員の活性化を目的とした専門部会の委員会等組織の設置に係る一歩として、意見を聞く機会を持つために「女性会員意見交換会」を実施しました。

また、一般市民の方が参加できるイベント、セミナー等も併せて行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できませんでした。

○【日 時】令和3年7月20日（火）10:00～11:30

【場 所】泉区役所東庁舎1階「中会議室」

【参加者】8名

（5）職群班活動の活性化

主に一般家庭からの就業機会拡大を図るため、職群班のスキルアップ体制や後継者育成による受注体制の強化を目的に、各職群班の役員より個別にヒアリングを実施し、現状の把握を行いながら、必要な情報の収集を実施しました。また、今回は同じ職種については本部・北部支部の職群班が同時にヒアリングを実施し、互いの状況や考え方についての情報共有を図りました。

《職群班からのヒアリングの実施》

○令和4年1月28日（金）

- ①「筆耕班」
- ②「パソコン事業班」
- ③「清掃（建物・施設）班」

○令和4年2月8日（火）

- ①本部「植木班」・ 北部支部「植木班」
- ②本部「除草（手刈）班」・ 北部支部「除草（手刈）班」
- ③本部「除草（機械刈）班」・ 北部支部「除草（機械刈）班」

（6）各種調査・研究の実施

入会説明会への参加者を対象としたアンケートについて、幅広く意見を吸い上げられるように集計方法の見直しを行い、今後の入会説明会のあり方や告知方法の効果的な取り組みの参考としました。

併せて、入会説明会後の新入会員研修会に出席したが、入会手続きをしない方に対してのアフターフォロー（意向確認）を引き続き実施しました。

また、一般家庭の発注者を対象とした「顧客満足度調査」も引き続き実施し、そのデータを基に就業対応におけるサービスの向上に努めました。

（7）社会貢献事業（ボランティア活動）への取組

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域におけるイベントは前年度に引き続き中止となったことで、ボランティア活動の取り止めが多い状況でしたが、いくつかの地域班では感染対策をとったうえで屋外での除草や清掃作業などを行い、地域社会への貢献・周知活動に取り組みました。

（8）ICT活用による事業展開の検討

シルバー会員が対応できるデジタルに関連した就業機会の拡大に繋げるため、既存の職群班の業務拡大を視野に入れながら、パソコン事業班と協議を行い現在実施している業務だけではなく幅広くデジタルに関連した業務に対応できるよう就業体制の構築について検討しました。

また、会員に対する情報提供の手法として、電話や文書での対応に加えてショートメールメッセージの活用を実施することで、迅速なやり取りと事務の効率化を図りました。

4. 運営体制の充実・強化

公益法人として公益性の高い事業運営に努め、会員・役職員が一丸となり基本理念である「自主・自立、共働・共助」に沿った事業を推進しました。

また、収束の見通しが見えない新型コロナウイルス感染拡大の影響による社会情勢を把握しながら、安全で安定した事業運営となるよう、事業の進捗状況の把握と適切な判断による事業の遂行に努めました。

(1) 理事会、委員会・部会体制の強化

令和3年度は役員改選の時期となり6月の総会において新たな理事・監事が選任されたことから、新任等役員を対象にセンターの基本理念や組織運営の原則など、公益性の高い事業運営が図れるよう役員研修会を実施しました。

また、理事が担当する各種委員会・部会における役割を明確にし、理事が主体的に活動出来るよう方針を示し体制の強化を図りました。そのうえで、理事及び会員で構成される委員会・部会等については、それぞれの組織が担当する懸案事項の確認や課題等の改善に向けて、状況を分析しながら事業の推進に努めました。

(2) 地域班の活性化

新型コロナウイルス感染拡大の影響により「ブロック代表・地域班長合同会議」は中止となったが「第1回行政区別ブロック代表・地域班長合同会議」を区ごとに計5回開催し、情報共有のほか、コロナ禍の中でもできる班活動の事例・取り組み状況を紹介しました。

また、現状の地域班・ブロック体制における問題点や今後の必要性、方向性について役員との意見交換会を行い、地域班の活性化に努めました。

(3) 事務局機能の拡充・強化

事務局職員の退職、そして新たな職員を迎えるなど、事務局体制が大きく変動する状況を踏まえ、事務局機能の低下とならないよう事務局全体のスキルアップを図るため職員を対象とした各種研修会への参加や事務局内で企画する定期的な研修・勉強会を実施し、事務局機能の拡充・強化に努めました。

また、事務局として、理事会や各種委員会・部会に係る事業計画に基づく進捗状況及び予算の執行状況を常に把握し、適正な事業運営に努めました。

(4) 事業運営基盤の強化

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、契約実績は目標数値を達成することが出来ない状況でしたが、事業計画に基づく事業の遂行にあたり、予算の執行状況や事業実施に係る進捗管理を行いながら、安定した運営が図れるよう事業を推進しました。

また、顧問税理士による定期的な指導・助言に基づき、会計全般の適正化を図りました。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

事務局職員が新型コロナウイルスに感染することで事業運営に支障が出ないように、昨年度

に引き続き、事務局内における感染予防対策の徹底を図りました。

また、会員に対しては感染予防対策について啓発・周知するとともに、就業等により活動しているセンターの会員に感染もしくは感染者との濃厚接触があった場合は、迅速な情報収集と対応により感染拡大防止に努めました。

（６）設立４０周年記念事業

延期開催を予定していた「設立４０周年事業の式典イベント」が新型コロナウイルス感染症の影響により正式に中止となったことから、式典イベントでの会員表彰を予定していた会員２１名に対して、個別に表彰状を贈呈しました。

- ※ 令和３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

II 会員の状況

1 会員数

令和4年3月31日 現在 2,705人(男 1,891人、女 814人)
(前年比 +10人)

2 男女別会員状況（シルバー派遣事業含む）

	平均年齢(才)	最高年齢(才)	就業実人員(A)(人)	会員数(B)(人)	就業率(A/B)(%)
男	73.9	90	1,407	1,891	74.4
女	72.5	93	637	814	78.3
計	73.5	93	2,044	2,705	75.6

3 年齢別会員数

(単位：人)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	合計
男	39	310	821	531	190	1,891
女	54	201	326	168	65	814
計	93	511	1,147	699	255	2,705

4 年齢別就業状況

(単位：人)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	合計
男	21	214	590	379	129	1,333
女	35	145	244	132	41	597
計	56	359	834	511	170	1,930

5 在会期間別会員数

(単位：人)

	1年未満	1～2年 未満	2～4年 未満	4～6年 未満	6～8年 未満	8～10年 未満	10年以上	合計
男	261	176	367	256	228	174	429	1,891
女	158	103	161	114	78	53	147	814
計	419	279	528	370	306	227	576	2,705

6 職群別登録会員数

(単位：人)

	技術群	技能群	事務群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービ ス群	合 計
男	189	224	144	534	69	696	35	1,891
女	29	23	160	43	46	328	185	814
計	218	247	304	577	115	1,024	220	2,705

7 新入会員の年齢別・入会動機別会員数

(単位：人)

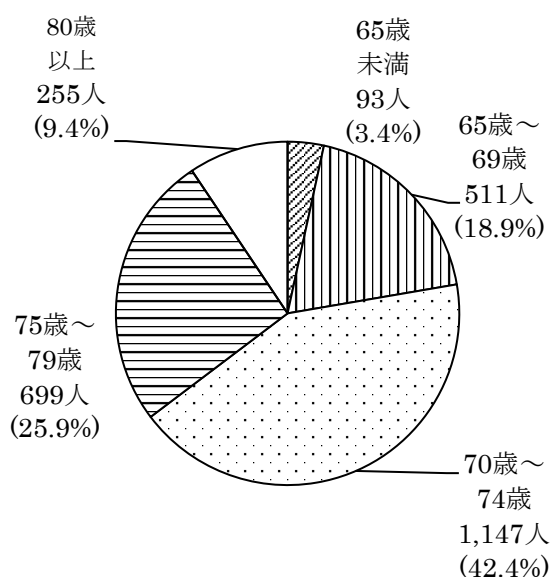
	65歳未満		65歳～69歳		70歳～74歳		75歳～79歳		80歳以上		合 計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
生きがい、社会参加	8	6	28	20	22	14	7	4	1	0	66	44	110
仲間作り	2	2	6	2	4	4	2	0	1	0	15	8	23
時間的余裕	3	6	25	9	32	10	9	5	5	0	74	30	104
健康維持・増進	0	4	9	6	22	6	6	5	2	0	39	21	60
経済的理由	8	9	25	23	34	19	13	5	3	0	83	56	139
そ の 他	2	1	2	1	1	5	1	1	2	0	8	8	16
計	23	28	95	61	115	58	38	20	14	0	285	167	452

8 退会理由別会員数

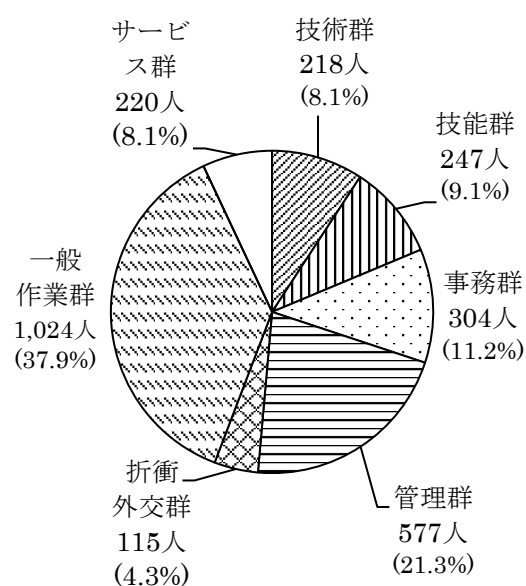
(単位：人)

	病気	就職	死亡	転居	仕事 なし	家庭事情 (介護等)	会費 未納	加齢	その他	合 計
男	61	36	11	7	43	15	84	34	27	318
女	19	11	0	7	13	23	21	16	14	124
計	80	47	11	14	56	38	105	50	41	442

年齢別会員数
全体人数 2,705 人



職群別登録会員数
全体人数 2,705 人



Ⅲ 事業実績

1 受託業務実績

(1) 契約件数	6,592 件
(2) 就業実人員 (年間を通じて1回以上就業した会員)	1,930 人
(3) 就業率 (会員数に対する就業した会員の割合)	71.3 %
(4) 就業延実人員 (就業件数を1件として集計した会員数)	33,407 人
(5) 就業延日人員 (年間に就業した会員の延日人数)	203,796 人日
(6) 契約金額	987,950,013 円
【内 訳】 配分金 (交通費を含む)	902,400,558 円
材料費等	18,276,699 円
事務費	67,272,756 円
	(前年比 97.6%)

(7) 公民別就業実績

	公共団体	民間企業	一般家庭	独自事業	合 計	
契約件数 (件)	383	1,813	4,377	19	6,592	
就業延実人員 (人)	1,971	19,496	11,784	156	33,407	
就業延日人員 (人・日)	10,089	176,845	16,644	218	203,796	
契約 金額 (円)	配 分 金	57,122,788	733,181,064	111,634,457	462,249	902,400,558
	材料費等	2,892,697	6,220,159	9,152,183	11,660	18,276,699
	事 務 費	5,115,343	54,373,448	7,746,974	36,991	67,272,756
	合 計	65,130,828	793,774,671	128,533,614	510,900	987,950,013
	構成比 (%)	6.6	80.3	13.0	0.1	100

※公社・公団等の契約金額 31,440,264 円は、民間企業に含まれています。

(8) 職群別就業実績

	契約 件数 (件)	就業延 実人員 (人)	就業延 日人員 (人日)	契 約 金 額 (円)				比率 (%)
				配分金	材料費等	事務費	合 計	
技術群	31	124	422	1,876,356	11,660	142,379	2,030,395	0.2
技能群	2,239	6,473	7,672	70,433,308	7,201,578	4,828,295	82,463,181	8.4
事務群	1,013	2,233	6,174	30,589,753	31,764	2,366,873	32,988,390	3.3
管理群	152	3,592	43,140	187,491,185	215,870	14,212,989	201,920,044	20.4
折衝外交群	6	156	2,097	7,913,901	0	623,920	8,537,821	0.9
一般作業群	2,805	19,645	140,359	592,139,637	10,803,202	44,230,245	647,173,084	65.5
サービス群	346	1,184	3,932	11,956,418	12,625	868,055	12,837,098	1.3
計	6,592	33,407	203,796	902,400,558	18,276,699	67,272,756	987,950,013	100

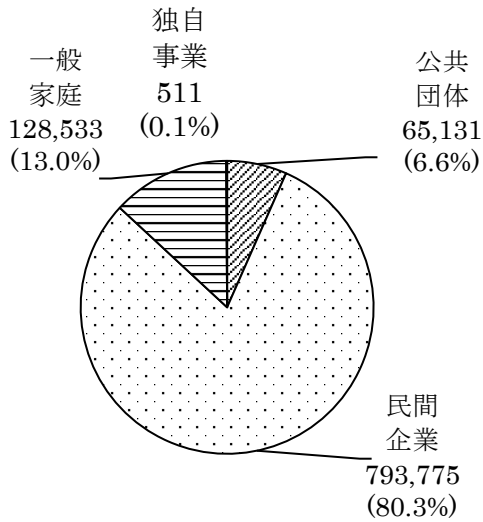
【参考】職群別就業実績内訳

職 群	職 種	令和3年度			令和2年度			契約金額対前年比 (A-B)
		受注件数(件)	就業延日人員(人日)	A 契約金額(円)	受注件数(件)	就業延日人員(人日)	B 契約金額(円)	
技術群	教育・講座指導等	41	178	576,100	38	186	540,648	37.5% (△ 3,378,727)
	経理事務	13	59	441,214	13	56	410,667	
	設備等保守点検	26	184	1,007,681	24	215	1,353,107	
	その他特殊技術等	1	1	5,400	4	55	3,104,700	
	小 計	81	422	2,030,395	79	512	5,409,122	
技能群	大工	38	184	1,776,945	31	202	2,003,185	106.4% (4,959,859)
	塗装	21	322	1,763,518	18	205	1,232,519	
	表具・表装	135	225	2,020,596	127	159	1,904,555	
	植木剪定	2,054	6,396	74,134,260	1,989	6,061	69,812,564	
	その他の技能	56	545	2,767,862	48	823	2,550,499	
	小 計	2,304	7,672	82,463,181	2,213	7,450	77,503,322	
事務群	整理事務等	192	2,958	17,831,862	181	2,909	18,981,627	110.0% (2,985,527)
	宛名書き	78	531	598,178	94	588	877,506	
	賞状書き	753	2,358	12,580,012	664	1,671	8,593,174	
	その他筆耕	136	327	1,978,338	123	271	1,550,556	
	小 計	1,159	6,174	32,988,390	1,062	5,439	30,002,863	
管理群	建物・事務所管理	677	16,084	99,643,846	708	17,424	109,973,483	89.5% (△ 23,621,618)
	駐輪場・駐車場管理	99	3,026	12,412,140	97	2,869	11,647,099	
	その他施設等管理	104	1,404	7,958,195	108	1,763	10,089,068	
	商品管理等	518	22,614	81,874,663	590	25,923	93,808,612	
	空き家管理	12	12	31,200	9	9	23,400	
	小 計	1,410	43,140	201,920,044	1,512	47,988	225,541,662	
折衝外交群	販売・集金	17	1,966	7,988,602	19	2,046	8,285,887	98.1% (△ 167,367)
	配達・外交・営業	28	131	549,219	24	129	419,301	
	小 計	45	2,097	8,537,821	43	2,175	8,705,188	
一般作業群	屋外清掃	787	13,873	69,964,831	732	13,619	69,404,061	99.0% (△ 6,371,503)
	除草(手刈)	2,023	6,820	48,881,612	1,992	6,646	48,692,688	
	除草(機械刈)	501	3,360	41,196,519	499	3,185	39,158,522	
	その他の屋外作業等	439	12,520	67,830,855	511	14,863	81,120,002	
	屋内清掃	2,584	48,768	175,278,313	2,413	45,087	164,279,205	
	包装・梱包作業等	84	2,676	10,902,196	82	2,838	11,726,106	
	調理・買い	77	926	4,069,942	94	1,214	5,450,379	
	その他の屋内作業等	1,171	51,416	229,048,816	1,130	51,888	233,713,624	
小 計	7,666	140,359	647,173,084	7,453	139,340	653,544,587		
サービス群	家事援助サービス	1,083	3,917	12,775,653	1,040	3,708	11,914,306	107.1% (852,997)
	その他のサービス	10	15	61,445	11	17	69,795	
	小 計	1,093	3,932	12,837,098	1,051	3,725	11,984,101	
合 計		13,758	203,796	987,950,013	13,413	206,629	1,012,690,845	97.6% (△24,740,832)

(注:受注件数は、継続も月一件として計上)

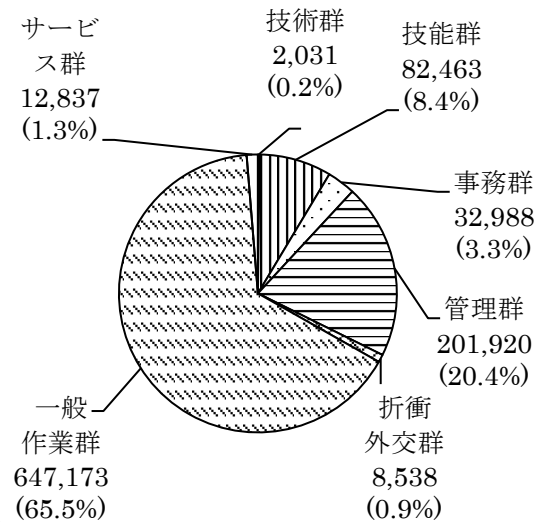
発注者別契約金額

(単位：千円)



職群別契約金額

(単位：千円)



2 シルバー派遣事業実績

契約件数 (件)	派遣会員数 (人)	就業延日人員 (人日)	派遣賃金等 (円)	派遣手数料 (円)		契約金額 (円)
				県連合会分	仙台市事業所分	
265	144	17,302	70,352,930	16,386,926		86,739,856 (前年比 99.5%)
				4,588,030	11,798,896	

※事業主は宮城県シルバー人材センター連合会となるため、会計上は当センターの仙台市事業所分としての派遣手数料（実績額より有給休暇費用差引）のみ計上

3 令和3年度「受託業務・シルバー派遣事業」実績総合計

契約形態	契約件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延日人員 (人日)	契約金額 (円)
受託業務契約	6,592	2,044 【就業率 75.6%】 ※受託・派遣事業者を含めた数値	203,796	987,950,013
派遣事業契約	265		17,302	86,739,856
計	6,857		221,098	1,074,689,869
前年実績比	6,628 (+229)	2,063 (△19) 【就業率 76.5%】 (△0.9%)	223,803 (△2,705)	1,099,904,285 (△25,214,416) (前年比 97.7%)

※受託事業とシルバー派遣事業の両方で就業している会員は実人員1人とカウント

IV 令和3年度会議の開催

1 定時総会

会議の名称	開催日	議事・報告
令和3年度 定時総会	6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算報告について 監査報告 ・定款の一部変更について ・役員（理事・監事）の選任について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

2 理事会

会議の名称	開催日	議事・報告
第1回理事会	4月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員（理事及び監事）候補者の選定について ・理事及び監事候補者選考基準の一部改正について ・令和3年度定時総会について ・会員の入退会状況について ・令和2年度3月末事業実績について ・令和2年度事故報告について ・オリジナル「ロゴマーク」の選考結果について ・その他
第2回理事会	5月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算報告及び監査報告について ・定款の一部変更について ・定款施行規則の廃止について ・令和3年度定時総会での表彰受賞者について ・運営会議等設置規程の一部改正について ・賛助会員の入会について ・会員の入退会状況について ・令和3年度4月末事業実績について
第3回理事会	6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び副理事長、専務理事の選定について ・安全・適正就業委員会、部会等委員の承認について
第4回理事会	8月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金の改定に伴う配分金基準単価の見直しについて ・事務規程の一部改正について ・配分金規約の一部改正について ・事務費規程の一部改正について ・設立40周年記念事業について ・会員の入退会状況について ・令和3年度6月末事業実績について ・各委員会・部会の委員(部会)長、副委員(部会)長の決定について ・安全・適正就業強化月間の取組結果について ・事故発生状況について

		<ul style="list-style-type: none"> ・支援要請活動の経過について ・普及啓発月間の取組について ・今後の主なスケジュールについて ・理事長、副理事長、専務理事の職務執行状況について ・その他
第5回理事会	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・「会員就業規約」の一部改正及び「就業中の賠償事故に係る会員負担基準」の廃止について ・「安全・適正就業委員会規程」の一部改正及び「事故調査委員会規程」の廃止について ・「安全・適正就業基準」の制定及び「安全就業基準」、「適正就業基準」の廃止について ・事務規程の一部改正について ・財務規程の一部改正について ・会員の入退会状況について ・令和3年度9月末事業実績について ・令和3年度上半期財政状況について ・職員の定年退職に伴う職員の新規採用について ・インボイス制度の影響と課題について ・生涯現役促進地域連携事業の後継事業について ・その他
第6回理事会	12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員給与規程の一部改正について ・常勤役員の報酬額の改定について ・特定費用準備資金の取り崩しについて ・会員の入退会状況について ・令和3年11月末事業実績について ・令和3年度事故発生状況について ・安全パトロールの実施結果について ・適正就業実態調査の実施状況について ・家事援助サービス研修会開催結果について ・理事長、副理事長、専務理事の職務執行状況について ・その他
第7回理事会	1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画の骨子について ・会員の入退会状況について ・令和3年12月末事業実績及び年度末事業実績見込について ・各委員会・部会の進捗状況と今後の予定について ・健康イベント（からだの衰え度チェック）の開催について ・職員採用試験の結果について ・その他
第8回理事会	3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画について ・令和4年度収支予算について ・職員就業規則の一部改正について ・社団法人D&O保険(役員賠償責任保険)保険契約の締結について ・会員の入退会状況について ・令和4年1月末事業実績について ・接遇研修会・交通安全講習会開催結果について ・安全就業推進実施計画（上半期）について ・その他

3 その他の会議、研修会

会議の名称	開催日	内 容
新任ブロック代表・地域班長研修会	4月19日	役員の心得、地域班・ブロック体制の目的と運営等
第1回運営会議	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会・部会の進捗状況について ・今後の検討事項について ・その他
第2回運営会議	2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度予算編成のポイント ・その他
新入会員研修会	毎月2回	会員の心得、センターの目的と運営等
行政区別理事・ブロック代表・地域班長会議（青葉）	11月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡事項 ・地域班活動事例発表 ・意見交換会
行政区別理事・ブロック代表・地域班長会議（宮城野）	11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡事項 ・地域班活動事例発表 ・意見交換会
行政区別理事・ブロック代表・地域班長会議（若林）	11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡事項 ・地域班活動事例発表 ・意見交換会
行政区別理事・ブロック代表・地域班長会議（太白）	11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡事項 ・地域班活動事例発表 ・意見交換会
行政区別理事・ブロック代表・地域班長会議（泉）	11月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡事項 ・地域班活動事例発表 ・意見交換会